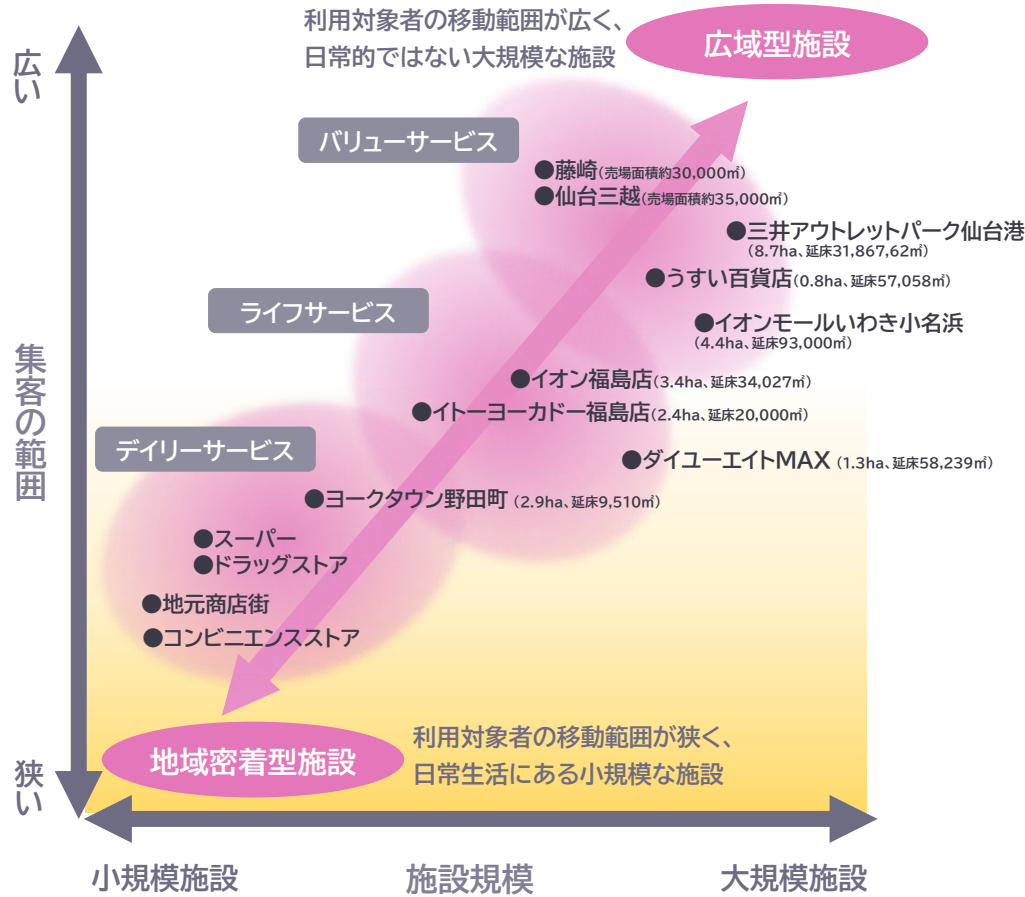
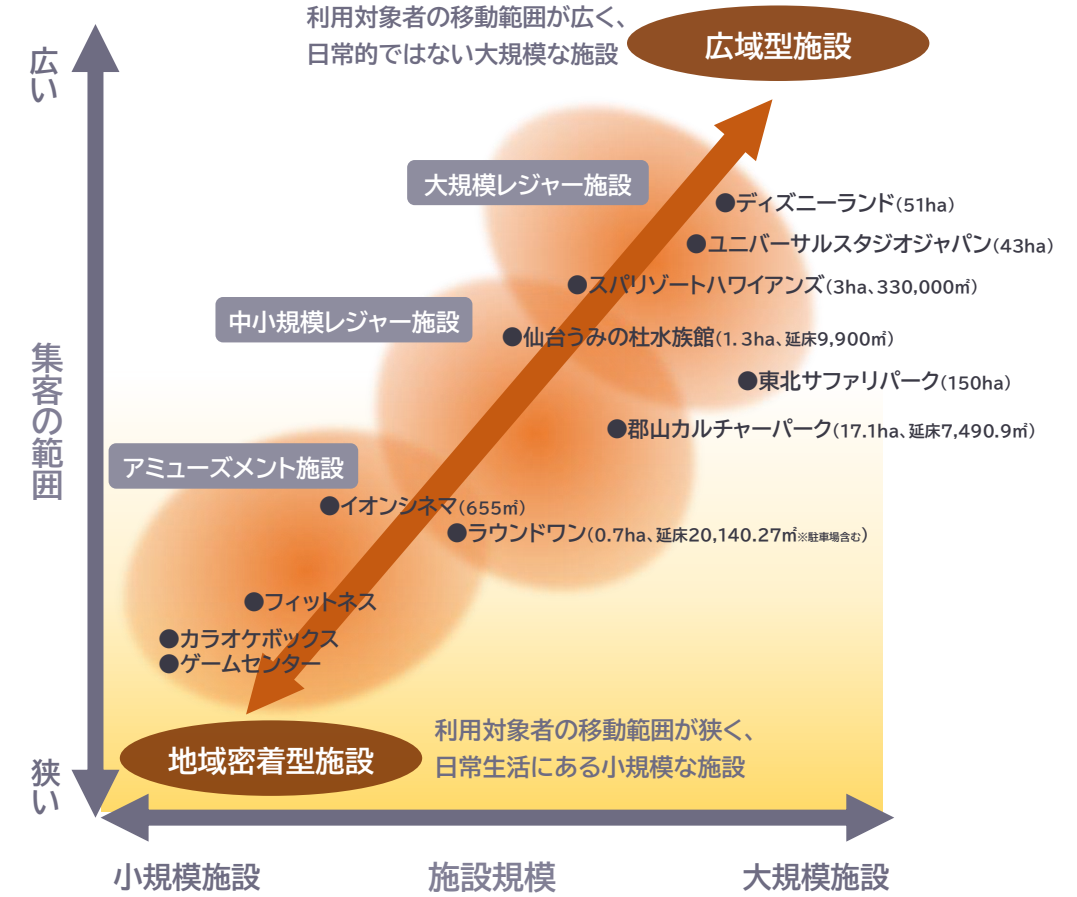


## 商業施設の例



- デイリーサービス** 施設周辺の住民が日常的かつ高頻度に利用
- ライフサービス** 平日頃ではないが生活用品の購入等で利用
- バリューサービス** 主に生活用品の購入ではなく高級嗜好品の購入等で利用

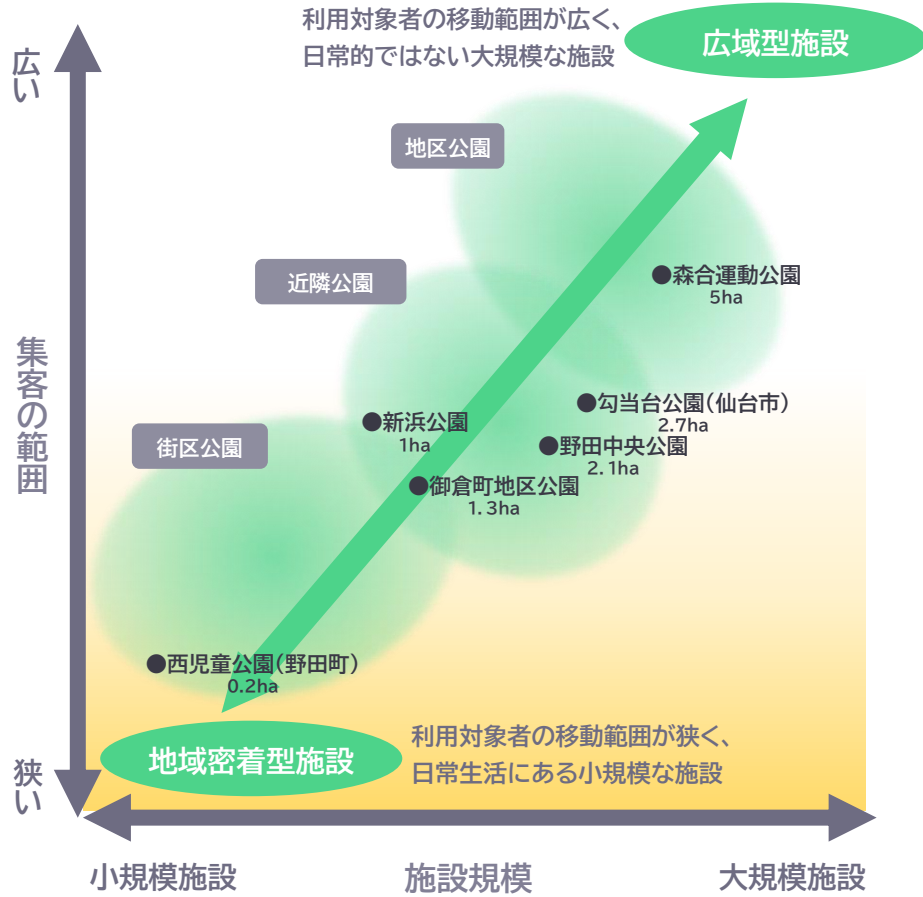
## 遊興施設の例



- アミューズメント施設** 日常的に楽しめる娯楽施設
- 中小規模レジャー施設** 余暇を楽しめる中規模なテーマパーク等の施設
- 大規模レジャー施設** 余暇を楽しめる大規模なテーマパーク等の施設

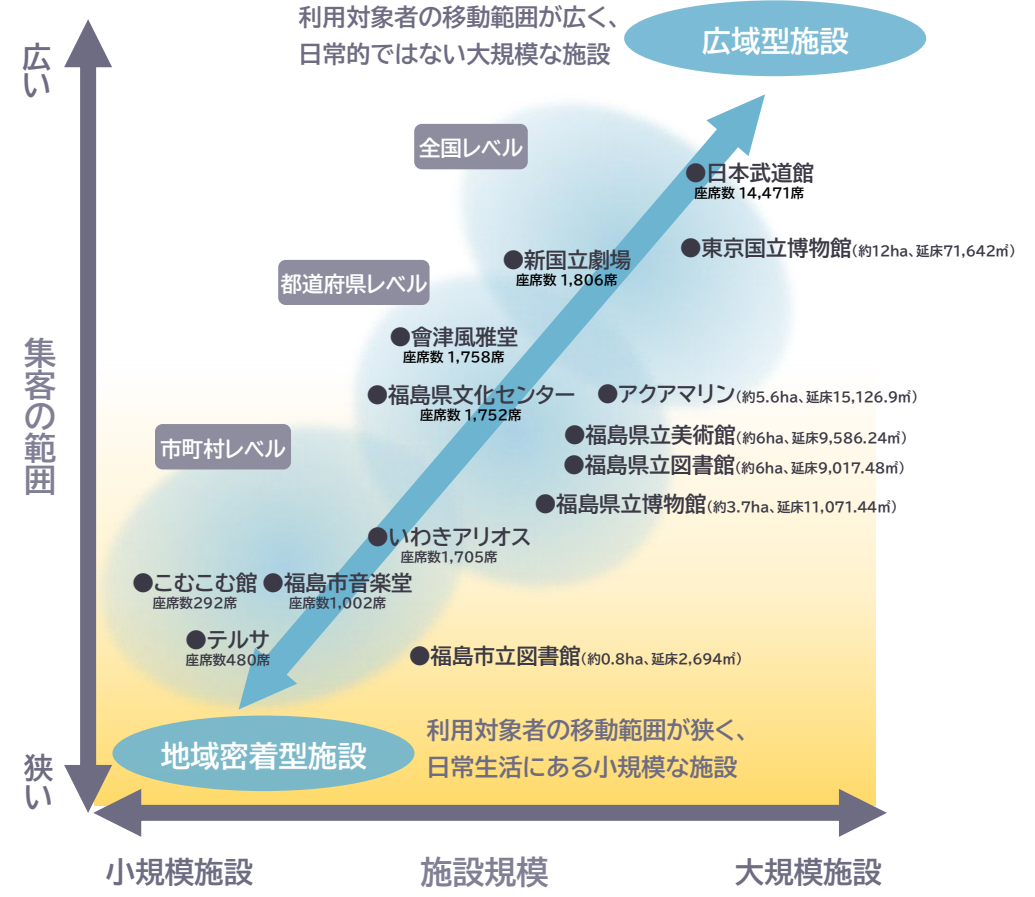
# 集客範囲と各施設の位置

## 公園施設の例



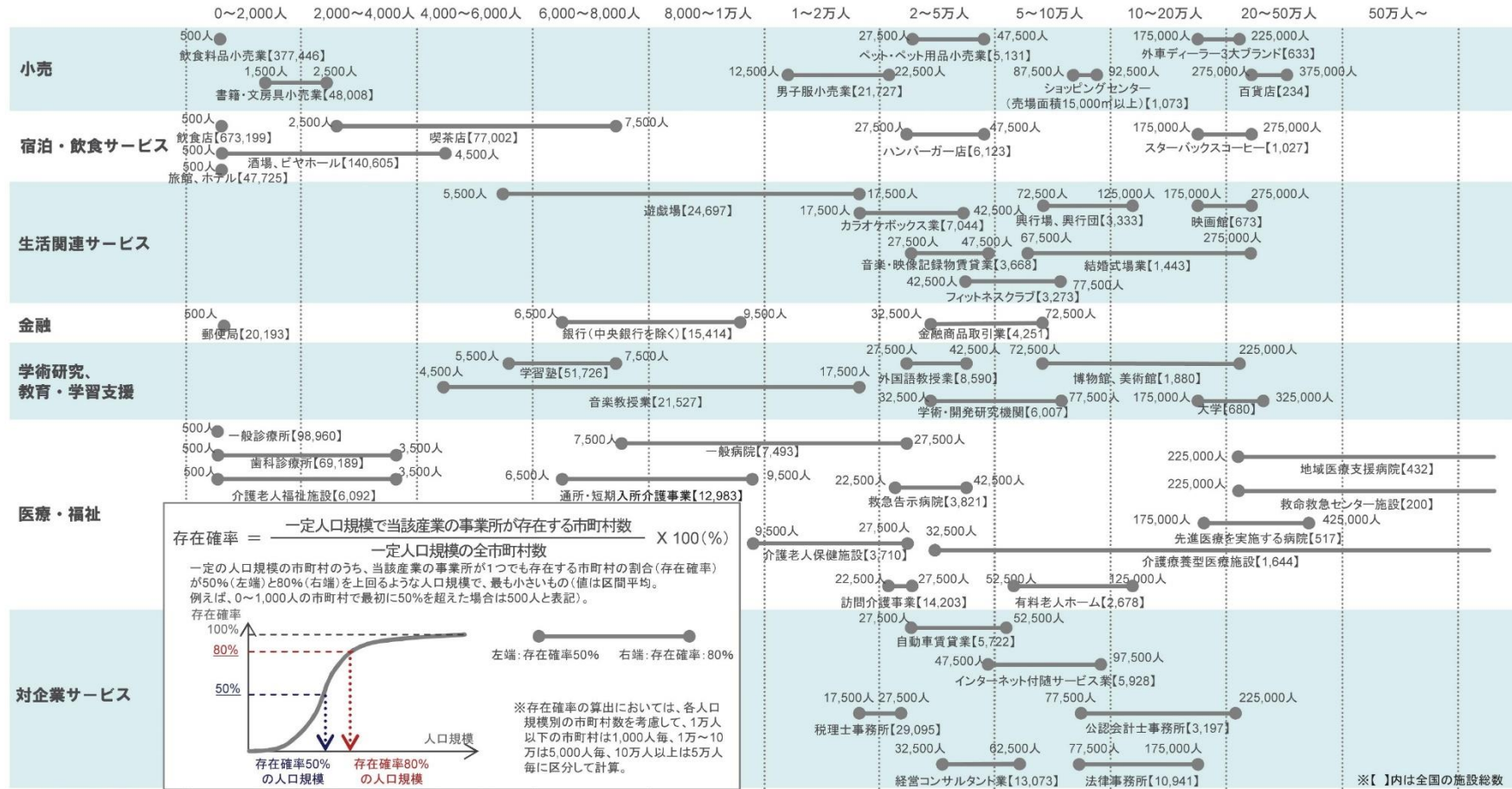
- 街区公園** 主として街区内に居住する者の利用に供するための公園(0.25ha標準)
- 近隣公園** 主として近隣に居住する者の利用に供するための公園(2ha標準)
- 地区公園** 主として徒歩圏内に居住する者の利用に供するための公園(4ha標準)

## 教育文化施設の例

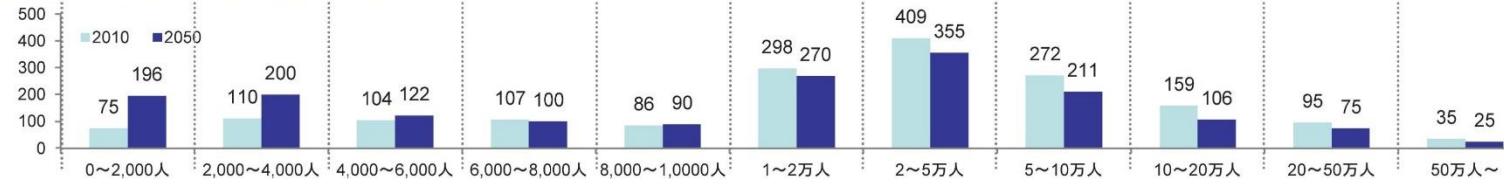


- 市町村レベル** 主として市内または近隣市町村に居住する者の利用
- 都道府県レベル** 市町村の区域を超える総合的な利用
- 全国レベル** 都道府県の区域を超える広域の教育文化需要を充足するために利用

# サービス施設の立地する確率が50%及び80%となる自治体の人口規模



(参考) 2010年と2050年における人口規模別の市町村数



(注1) 2050年の市町村別人口は、国土交通省国土政策局推計値  
 (注2) 2010年、2050年ともに、人口規模別の市町村数は、平成22(2010)年12月1日現在の1,750市区町村を基準に分類

(出典) 総務省「平成21年度経済センサス」、厚生労働省「医療施設調査 病院報告(平成24年10月)」、同「介護サービス施設・事業所調査(平成24年10月)」日本救急医学会HP、wellnes HP、日本ショッピングセンター協会資料、日本百貨店協会HP、メルセデスベンツ・フォルクスワーゲン・BMW各HP、スターバックスコーヒージャパン資料をもとに、国土交通省国土政策局作成

# 市施設整備上の課題

## ① 図書館本館

- 『福島駅前周辺又は現在地周辺などの設置場所も含めた新しい図書館の基本的な方向性やコンセプトを出来るだけ早期につくりあげる。』

《現状》 ➤ 市立図書館再整備検討委員会の設置。令和元年11月に委員会より市へ報告書を提出

## ② 官民連携によるコンベンション機能の強化(劇場ホール)

- 『公会堂の機能及び市民会館の機能の統合化により、コンベンション機能を強化し、新たな交流・集客拠点として、福島駅東口再開発事業と連携し、再開発予定地内でのコンベンションホールなどの整備を目指す。』

《現状》 ➤ 再開発の見直しによりコンベンションホールが整備。本格的な舞台装置と音響を備える劇場機能を、再開発以外でどのように確保するかが残された課題

## ③ 福島駅新東西自由通路

- 『駅周辺の回遊性や駅東西の機能連携の強化、災害発生時の避難経路確保などの観点から、民間事業者との連携や整備コストなどの課題を踏まえ、中長期的に調査研究を続ける。』

《現状》 ➤ 東西における拠点機能の形成、東西の往来活発化とともに、駅舎・駅ビルの改修とあわせた新たな自由通路整備に向けた調整・検討

## ④ サッカースタジアム

- 『ホームタウンの機運醸成の取組みを強化するとともに、関係者などと整備のあり方について中長期的に調査研究を行う。』

# 今後の予定について

---

令和6年12月中旬～下旬

第7回 福島駅周辺まちづくり検討会 【予定】